資料３

ひょうごビジョン2050及び地域創生の推進について

作成年月日	令和7年４月16日
作成部局名	企画部　計画課

目次

Ⅰ　ひょうごビジョン2050の推進

1　ビジョンの推進……03

2　ビジョンのフォローアップ……05

Ⅱ　地域創生の推進

1　地域創生戦略の推進……06

2　移住定住施策の推進……10

Ⅰ　ひょうごビジョン2050の推進

1　ビジョンの推進

(1) ひょうごビジョン2050の概要

・「ひょうごビジョン2050 」（2022年３月策定）を基本方針として、各分野計画に基づく施策を推進。また、県民主体の実践活動の拡大を図るとともに、対話の場、学びの場を各地で展開し、県民参画による地域づくりを推進し、「誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」の実現をめざす。

【めざす姿】
誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』

5つのめざす社会	Ⅰ　自分らしく生きられる社会	①自由になる働き方 ②居場所のある社会 ③世界へ広がる交流
	Ⅱ　新しいことに挑戦できる社会	④みんなが学び続けられる社会 ⑤わきあがる挑戦 ⑥わきたつ文化
	Ⅲ　誰も取り残されない社会	⑦みんなが生きやすい地域 ⑧安心して子育てできる社会 ⑨安心して長生きできる社会
	Ⅳ　自立した経済が息づく社会	⑩循環する地域経済 ⑪進化する御食国 ⑫活動を支える確かな基盤
	Ⅴ　生命の持続を先導する社会	⑬カーボンニュートラルな暮らし ⑭分散して豊かに暮らす ⑮社会課題の解決に貢献する産業

(2) ビジョン実現に向けた分野計画の推進

・地域創生戦略をはじめ、各分野計画をビジョンの実行プログラムと位置づけ、ビジョン実現に向けた県施策を推進

(3) 県民主体の実践活動によるビジョンの推進

・ビジョン実現に資する活動を行うグループを「ビジョン推進チーム」として登録し、県民の実践活動を支援するなど、地域のめざす姿を描いた地域ビジョンを推進

【R6ビジョン推進チーム数】

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
チーム数	11	45	18	25	36	35	25	23	13	23
人数	854	816	493	1,261	1,864	1,077	3,253	2,671	155	2,309

(4) ビジョンフォーラムの開催（対話の場づくりの推進）

・多くの県民が集い、地域の未来を話し合う「対話の場」として、各地域でビジョン推進チームの活動発表のほか、地域のキーパーソンを交えたワークショップ等を実施する地域ビジョンフォーラムを開催

神戸地域ビジョンフォーラム

北播磨地域ビジョンフォーラム

【R6地域ビジョンフォーラム開催状況】

地域	日程	会　場
神戸	2月1日（土）	県立神戸生活創造センター
阪神	11月16日（土）	尼崎市総合文化センター
東播磨	12月14日（土）	加古川総合庁舎
北播磨	8月23日（金）	小野市うるおい交流館エクラ
中播磨	12月18日（水）	兵庫県立姫路労働会館
西播磨	3月1日（土）	西播磨総合庁舎
但馬	3月9日（日）	但馬文教府
丹波	3月20日（水）	丹波の森公苑
淡路	3月4日（火）	南あわじ市広田地区公民館

※　阪神南北は合同開催

(5) 出前講座の実施（学びの場づくりの推進）

・次代を担う若者が、自分や地域の未来を考え新しい一歩を踏み出すきっかけになるよう、ビジョンを素材に地域について学ぶ「若者出前講座」(32回)や、地域団体等への出前講座(26回)を実施

若者出前講座の様子

(6) 情報発信

・「ひょうごビジョン2050」ポータルサイトにおいて、地域のキーパーソンや先進的な活動を行っている団体等へのインタビュー動画など、多彩なコンテンツを掲載

ポータルサイトのコンテンツ例

2　ビジョンのフォローアップ

(1) 兵庫のゆたかさ指標によるビジョンの点検評価

・ビジョンの推進状況を、県民の実感で捉える「兵庫のゆたかさ指標」を用いて点検・評価するため、県民意識調査を実施
・同調査を基に、ビジョンで掲げた15のめざす姿に関連する48の調査項目により、ビジョンの推進状況を把握

(2) 推進状況報告

・県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例（平成18年4月1日施行）に基づき、ビジョンの実現に向けた令和５年度の推進状況を議会に報告（令和６年９月）

Ⅱ　地域創生の推進

1　地域創生戦略の推進

(1) 概要

・これまでの取組の評価検証や時代潮流の変化を踏まえ、今後５年間の目標と取り組むべき施策の方向性を定める第三期兵庫県地域創生戦略(2025-2029)を策定

【全体像】

基本理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ
～地域や人をつなぐ「縁」を生み出し、共創の取組を五国に拡げる～

３つの柱	8つの方向性	主な施策キーワード
自分らしく生きられる社会の創出 学び、働き方、暮らしに多様な選択肢が用意され、社会的なつながりの中で誰もが居場所と役割を持てる社会を目指す	1 多様な学びや働き方が叶う社会を創る	多様で質の高い教育環境の提供、高校･高等教育の負担軽減、リスキリング等の学び直しの環境づくり、ライフスタイルに合わせた多様な働き方の推進
	2 居場所と役割を創る	ひきこもり対策や不登校支援の強化、課題を抱える若者等へのサポート拡充、高齢者･障害者の就労や地域活動への参加促進、単身高齢世帯等の見守り体制等の強化
	3 寛容性を拡げる	ユニバーサル社会づくりの推進、外国人県民の暮らし支援体制の強化、女性の活躍推進、偏見や差別の解消への取組強化、特別支援教育の推進
五国に拡がる可能性の追求 五国の多様性や地域資源などの個性･強みを磨くとともに、 それらを繋ぎ、掛け合わせることで、地域活力の相乗効果を生み出していく	4 ひとの動きを生み出す	五国の強みを活かした移住促進策の強化、2025年大阪･関西万博、WMG2027関西、神戸空港の国際化等を好機とした観光施策の強化、若者等の地域活動参画の推進
	5 地域の固有性を磨く	地場産業の新たな展開への支援、万博後も見据えたひょうごフィールドパビリオンの推進、スポーツや芸術文化を活かした地域づくりの推進
	6 経済活力を創出する	若者が志向する雇用の場の確保や県内企業とのマッチング強化、DX化やロボットの導入等による人手不足対策の強化、持続可能な農村地域づくりの推進
暮らしの持続性の確保 人口減少の抑制に尽力するとともに、生活機能の維持や、防災･防犯対策、自然環境の保全など、人口が減っても質の高い暮らしを実現していく	7 人･自然･文化を次代につなぐ	結婚･出産･子育ての希望が叶う環境づくり、人と自然が共生する豊かな環境を次代につなぐ取組の推進
	8 安心して暮らし続けられる地域を創る	多自然地域における持続可能な生活圏の構築、高齢者の健康づくりや安心して暮らせる地域づくりの推進、防災･減災対策のハード･ソフト両面からの強化

【戦略推進プロジェクト】

・地域創生の実現に向けて重点的に取り組むべき課題への対応を「戦略推進プロジェクト」として設定し、分野横断的な取組を県・市町・関係団体などと連携、協力しながら推進

区　　分	趣旨・ねらい	主な事業
①若者・Z世代応援プロジェクト	次世代を担う若者が、望む学びや働き方、暮らし方ができ、存分に力を発揮できる社会の実現に向けた取組	・大学生等インターンシップ推進事業(産労) ・県立高校ふるさと共創プロジェクト事業(教委)
②ひとりじゃないプロジェクト	深刻化する社会的な孤独・孤立を防ぐため、多様な主体と連携してつながりを広げる取組	・ひきこもり対策総合支援事業(福祉) ・ひょうご不登校対策プロジェクト事業(教委)
③外国人「第二のふるさと」プロジェクト	地域に暮らす外国人が兵庫を「第二のふるさと」として、安心して暮らし、働ける環境の整備に向けた取組	・ひょうご外国人雇用企業認定制度事業(産労) ・多文化共生社会検討実務者会議(産労)
④五国の“ナリワイ”育みプロジェクト	地場産業や成長産業など兵庫に集積する多様な産業の競争力を強化し、地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組	・NEXTじばさん推進プロジェクト事業(産労) ・神戸空港国際化を契機としたｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ誘客強化事業(産労)
⑤ひょうご五国豊穣プロジェクト	農林水産業の生産向上や高付加価値化に取り組むとともに、「農」を核とした活気ある農山漁村づくりに向けた取組	・ひょうご農村RMO推進支援事業(農林) ・ひょうごオープンファーム強化事業(農林)
⑥五国のご縁(五縁)プロジェクト	地域で活躍するロールモデルを発掘し、交流を通じた地域や人をつなぐ縁を生み出すなど、地域創生の活動を広げる取組	・地域創生コラボレーションプロジェクト事業(企画) ・地域のネクストリーダー発掘プロジェクト事業(県民)

【各地域における取組方針】

・五国の多様な地域性や特性を踏まえ、県民局・県民センター毎に取組方針を設定し、戦略に位置付けることで、きめ細やかな地域創生の実現を目指す

神　戸	・アートや歴史遺産を活かした交流の拡大による賑わいづくり ・都市と「農」が近接する強みを活かした農の神戸ブランド創出
阪神南	・「阪神間モダニズム」を切り口とした地域周遊・交流の促進 ・強みであるものづくり技術の高度化促進
阪神北	・宝塚大劇場や清酒発祥の地・伊丹などの地域資源の魅力発信 ・「阪神アグリパーク構想」による賑わいづくり
東播磨	・地域のつながりを支え、生活の質を向上する取組を推進 ・ため池等の豊かな水辺環境の維持や魅力発信の取組を推進
北播磨	・ゴルフ等のスポーツ基盤などの地域特性を活かした交流促進 ・山田錦、ぶどう、もち麦等多彩な特産品のブランド強化

中播磨	・姫路城や銀の馬車道・鉱石道等の地域資源の魅力発信 ・森林や農地の多面的機能の維持・保全、自然環境との共生を推進
西播磨	・山城や「水」「緑」にまつわる観光資源を活かした交流の拡大 ・播磨科学公園都市の賑わい創出や、地域と連携した魅力の促進
但　馬	・芸術文化観光専門職大学と連携した地域活力の創出 ・コウノトリ育む米など人と自然にやさしい生活環境の構築
丹　波	・里山の保全・再生を推進し、丹波らしい景観を未来に継承 ・シリ丹バレー構想推進による産学官民のネットワーク形成
淡　路	・「世界一の食の島」を目指した食のブランド強化 ・南海トラフ等の自然災害への対策強化やため池改修等の推進

(2) 戦略の指標･目標、人口の将来展望

- 個別の取組の効果や成果を直接的に測る統計データ等による客観指標に加え、統計データ等では測定が困難な「幸せの実感」や「心の豊かさ」等の主観指標を、８つの方向性に応じて設定

- 国立社会保障･人口問題研究所の将来推計を基本に、本戦略に基づく取組の効果を踏まえ、2070年の本県人口目標を380万人に設定※

  ※今後の人口動向等を注視し、必要に応じて見直し

〇主な指標･目標(全体ではこれらも含め約200指標を設定)

指　標	現状	目標値(R11)
合計特殊出生率	1.29(R5)	1.27
県内の転入超過数(国際移動･外国人含む)	1,291人(R5)	5,400人
県内一人あたり県内総生産(GDP)の伸び	実質 国107.7 県113.1 名目 国119.2 県121.9	国を上回る一人当たりGDP伸びを維持
多様な働き方を選択しやすい社会だと思う人の割合	22.7％(R6)	前年度を上回る
住んでいる地域に自慢したい宝があると思う人の割合	40.9％(R6)	前年度を上回る
住んでいる地域は治安が良く安心して暮らせると思う人の割合	68.0％(R6)	前年度を上回る
健康寿命(男性・女性)	男性 80.41(R2) 女性 84.93(R2)	男性 81.53 女性 86.05

(3) 戦略の推進体制

- 実務者等を中心とした地域創生アクション委員会を設置し、広報プロモーションの効果的な展開や、戦略推進プロジェクトへの参画を通じた事業の改善などにより、戦略の実効的な推進を図る

- 県議会には適時、戦略に係る実施状況を報告し、現状や課題を共有するとともに、地域創生の実現に向けて連携･協力の上、推進を図る

〇地域創生アクション委員会 委員一覧

氏名等	役　職　等
岩浅 有記	大正大学地域構想研究所准教授(県政策ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ)
上村 敏之	関西学院大学経済学部教授
岡本 麻紀子	日本イーライリリー㈱ 部長
桂 敦子	県立三木高校校長
河野 圭一	㈱ワールド･ワン 代表取締役
田林 信哉	Satoyakuba代表(県政策ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ)
富田 祐介	㈱シマトワークス 代表取締役
西山 桃子	㈱西山酒造場 取締役女将
飛田 敦子	認定NPO法人コミュニティ･サポートセンター神戸
安枝 英俊	県立大学環境人間学部教授

(4) 地域創生広報の推進

・本県の魅力や地域創生の取組について効果的な情報発信を図るため、若者・ファミリー層などの対象者に応じた本県の魅力をPRすることにより、UJIターンの促進をはじめとした人口減対策に資する取組を推進

ひょうご地域創生通信
（県内移住者による地域創生にかかる取組内容の紹介）

第三期兵庫県地域創生戦略リーフレット
（県内で活躍するロールモデルによる活動内容の紹介）

【令和６年度の主な取組】

項目	内容
ひょうご地域創生通信	地域創生に係る取組やトピックスを分かりやすくまとめたタブロイド紙やWEB動画を作成する等、各種広報媒体を複合的に活用した広報を展開 令和6年度は、ひょうご五国の活性化を目的として地域活動に取組む県内移住者によるワークショップ「ひょうご地域創生フェス」の模様等を掲載
兵庫県公式地域創生インスタグラム「love_hyogo」	転出者が多い若年層等に訴求するため、若者がメインユーザーである「インスタグラム」を活用し、地域情報を発信。現在6万7千人を超えるフォロワーに対し、兵庫の魅力を切り取った写真やコメントの投稿を促し、SNSの強みを活かした効果的な広報活動を展開 ・フォロワー数　67,164人（R7.3.14時点） ・写真投稿数　累計905,000件 ・リポスト数　累計1,294件（R6年度：173件）
第三期兵庫県地域創生戦略リーフレット	「第三期兵庫県地域創生戦略」の基本理念や取組内容等を広く普及啓発するため一般の県民にも理解できる内容で掲載

2　移住定住施策の推進

(1) 移住相談の実施

・県への移住を促進する相談窓口として、東京・大阪・神戸にひょうご移住・しごとプラザを設置
・県内市町と連携した移住促進セミナーの実施や、他団体主催イベントに出展
・県単独での総合的移住イベントの開催や、移住マッチングサイト「SMOUT」等を活用し、情報発信を強化

東京センターの様子

【ひょうご移住・しごとプラザ概要】

区　分	ひょうご移住・しごとプラザ	ひょうご移住・しごとプラザ（神戸）	ひょうご移住・しごとプラザ（大阪）
開　設	平成28年１月16日 （旧東京ｾﾝﾀｰ） 令和２年４月１日（移住ﾌﾟﾗｻﾞ）	平成29年２月22日 ※R4.７県庁(計画課内)に移転	令和３年４月１日
開所日時	火～日10:00～18:00	月～金9:00～17:00	金・土 10:00～18:00 ※第２・３土 市町・県民局相談
体　制	移住相談員２名 就職相談員２名	移住相談員２名	移住相談員１名
R6相談等件数	７５４件	１３３件	１５７件
業務概要	・移住相談：県内の移住相談窓口、市町および地域NPO等への取り次ぎ ・出張相談の企画・実施：市町との合同相談会や移住イベントの実施等 ・広報業務：市町等による移住促進パンフレットの配布、移住イベントのＰＲ等		

(2) 移住定住情報の発信

・移住ポータルサイト「兵庫で暮らせば…」等の活用により、移住関心層への情報発信を強化

Webサイト TOP画面

記事例(移住イベントのレビュー)

記事例(県内スポット情報)

・地方回帰志向の高まりを確実に捉えるため、市町や関係機関と連携した首都圏等での移住促進イベント「兵庫五国移住・交流フェア」を開催

【R6兵庫県移住・交流フェア開催実績】

日程・会場	来場者数	開催内容	連携市町数
11月16日(土) 難波御堂筋ホール	197名	県内市町等による移住相談 先輩移住者によるトークステージ	31市町
2月16日(日) 東京交通会館	413名	県内市町等による移住相談 先輩移住者によるトークステージ 兵庫県工芸品のワークショップ 特産品マルシェ	23市町

東京開催の様子